

千葉経済大学の新たな取り組み

時代環境や学生自身の変化に対応して教育の質の向上を図り、もって全ての学生がしっかりした社会人として巣立てるようになるため、千葉経済大学は、従来からの取り組みに加えて、新たに次の取り組みを行います。

新たな取り組みと、従来からの取り組みにより次の**3つの目標**の達成を目指しています。

- ・あたたかく面倒見の良い大学
- ・人間力・社会人基礎力をつけて社会に送り出す大学
- ・千葉の経済に強く、千葉の就職に強い大学

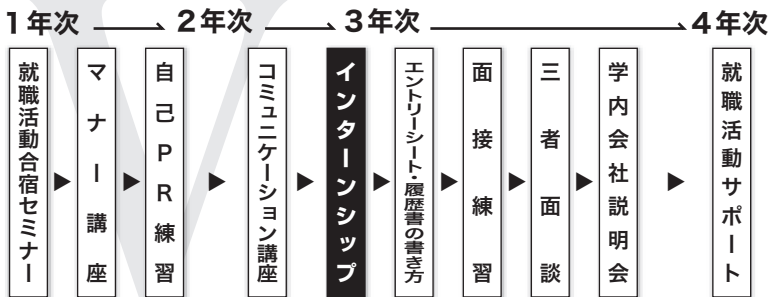


右側のタワーは昨年竣工したエレベータ棟です



第53号
発行
千葉経済大学
千葉市稲毛区轟町
3-59-5 (〒263-0021)
TEL.043(253)9111 (代)
FAX.043(254)6600
<http://www.cku.ac.jp>

【就職支援の流れ/インターンシップのタイミング】



VI 課外活動の一層の奨励

「チームで働く力」を身につけるためには、集団スポーツをはじめとするクラブ活動や同好会活動が効果的です。これらの課外活動団体は1年次生から4年次生までの年齢が異なる学生で構成されることから、実社会で一般的である年齢階層組織になじむうえでも効果的です。

このような観点から、従来から課外活動を奨励してきましたが、新たに**定例リーダーミーティング**の開催など様々な措置を講じることにより、課外活動をより一層奨励し、もって学生の人間力・社会人基礎力や課題対応の意欲と能力の育成に役立てていきたいと考えています。

VII その他の新たな取り組み

冒頭の3つの目標を達成するために**アクション・プログラム**を定めて、上記I～VIの取り組みの他にも様々な新たな取り組みを進めています。具体的には一部残っている大人数講義の分割・適正化、シラバス（授業内容の要旨を記した資料）の充実、履修体系図の作成、出欠管理の迅速化などによる退学防止、キャリアセンターの一層の充実、千葉経済界との連携強化などです。

お知らせ

文部科学省の「平成26年度私立大学等改革総合支援事業」に選定されました。

本事業は、教学面からの大学改革に組織的・体系的に取り組む私立大学等を選定し、当該大学等の財政基盤の充実を図るため、経常費・施設費・設備費を一体として重点的に支援するものです。

本学は文部科学省の平成26年度私立大学等改革総合支援事業のうち、タイプ1【建学の精神を生かした大学教育の質向上】に申請し、選定されました。タイプ1は、全学的な体制での教育の質的転換（学生の主体的な学修の充実等）に取り組むもので、今回の採択は本学の取り組みが文部科学省に優れていると認められたことを示すものです。

詳しい内容は、文部科学省「私立大学等改革総合支援事業」をご覧ください。

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shinkou/07021403/002/002/1340519.htm

I クラス制の導入

2015年度から、ゼミナール（ゼミ）をベースとする**学年別クラス**に学生が必ず所属するものとします。ゼミは必修科目ですので、学生はクラスメイトと毎週必ず顔を合わせるようになります。また各種ガイダンスや大学祭等においてもできる限りクラス単位で行動することを奨励します。これらに加えて、ゼミ担当教員がクラス担任を兼ね、クラスの学生一人一人の学修・生活・進路についてきめ細かく指導します。これにより、見知らぬ相手が顔なじみになり、やがて共通の話題もできて、友達になり、ひいては楽しく充実した学生生活を送れることが期待されます。その中から生涯の友人が得られることもあるでしょう。

II 就職分野別コース制の導入

現代の学生は、在学中から就職を見据えた学修に努めることが必要になっています。

2015年度から、学生が**就職分野別コース**を自ら選び就職を意識した学修に努めることができるようにします。各コースにおいては、その分野への就職に直接役立つ科目をコア科目として設定するとともに、関連する資格の取得や試験に合格できるよう関係教員が親身になってきめ細かく支援します。

III グループワーク型授業の導入

少人数教育を更に徹底するとともに、人間力・社会人基礎力や課題対応能力、さらに継続的な学習力を育成するために、2015年度からゼミにおいて**グループワーク型授業**（学生がグループを組んで、研究テーマを自ら選定し、役割分担しながら研究を行って、その成果を他の学生達の前で発表し合い、相互に質疑応答するスタイルの授業）を導入します。これにより、学生の主体性・行動力・協調性などが育まれると期待されます。

IV 広い視野の獲得や基礎学力の向上を一層支援

一般教養科目は、「考える力」を育む上で必要不可欠です。教養教育は欧米では「リベラル・アーツ」と呼ばれ、その元来の意味は「(人間を)自由にする学問」であり、その起源は古代ギリシャに遡ると言われています。それは「時代環境の変化から人間を自由にしてくれるもの」なのです。

このような観点から教養教育を重視してまいりましたが、2015年度カリキュラム改訂において「**世界史概説**」・「**実践能力開発**」などの新たな教養科目を開設し、「考える力」をより一層身につけることができるようになります。

また基礎学力に不安をもつ新入生に対する支援として、国語・数学・英語について先輩学生が家庭教師的に教える**チューター制度**を設けることとしています。

V インターンシップの強化

2015年度から、**インターンシップ**をできるだけ多くの学生が経験することを奨励することとしています。「百聞は一見にしかず」の格言通り、社会人になるとはどういうことかを実感でき、就職後の自分の姿をイメージしながら学修に専念できるようになることが期待されます。

(左上の図解参照)

2014年 オープンキャンパス 実施報告

今年五月から九月までの間に計八回オープンキャンパスが行われました。来校者数は昨年を大きく上回りました。来校された方々には厚く御礼申し上げます。

オープンキャンパスは高校生にとって大学選びに欠かせないものとなっています。大学の教育方針や学部・学科の取得サポート、就職支援体制など、さまざまな観点から高校生は「自分が見極めよう」としている。最初のプログラムである全体ガイダンスで小滝学長より本学の教育方針や取り組みが紹介されました。参加した高校生たちが真剣に聞き入っている姿がとて印象的でした。

また最近の傾向は、保護者の方が一緒に来校されて「子供にあった大学」であるかどうかを見極めようとしていることです。保護者の方は（自分の子供の）就職が決まるまでの面倒見の良さに強く関心を持たれているようです。そのようなニーズに応じる形で、今年度は毎回のオープンキャンパスで就職支援体制の説明に重きをおいた「保護者向け説明会」を開催いたしました。



小石キャリアセンター室長による本学の就職支援の取り組み紹介は保護者の皆様大変好評でした。

例年通り、本学教員の講義を体験できる模擬授業体験入試に向けての対策を解説する課題・面接説明会、オープンキャンパス研究部の学生スタッフが案内役となる学内見学ツアー、特別プログラムとして女子高校生向けプログラムや在学生との懇談会、再来校者（リピーター）向けプログラムも実施されました。再来校者向けのプログラムでは、本学で「コミュニケーション講座」等を担当されている奈良先生にご協力いただき、マナーやコミュニケーションのとり方を実習形式で学ぶキャリア教育の模擬授業が実施されました。どれも高校生と一緒に参加された保護者の方に高く評価されました。ご協力いただきました教職員の方、学生のみなさんに心より御礼申し上げます。

ボランティア論紹介

経営学科3年 高橋 亜友香

学生時代にボランティア体験をしたほうがよいく言われているが、実際にボランティア活動に参加している学生はそう多くはないだろう。

しかし、ボランティア活動に興味があるものの、参加するきっかけや勇気がない、どこでどのような活動をしているのか分からない、というような学生もいるだろう。また現在、本学ではボランティアサークルなどの団体を設けていない。そのため、学校内では



学生同士がボランティア活動について考える機会が少ないのではないかとと思われる。私が受講した「ボランティア論」の授業では、教室内の講義でボランティアの定義について学ぶとともに、学外へ出て実際にボランティア体験も行った。今回私たちは、先生が行っている通学路の環境美化を手伝わせていただいた。ボランティアをする機会があまりない私たちにあっては貴重な時間となったのではないだろうか。

教職員研修会を行いました

「教職員と学生相談室の連携」

学生相談室カウンセラー 鈴木 水季

去る九月二十五日、本学学生相談室の鈴木水季カウンセラー（臨床心理士・精神保健福祉士）を講師に迎え、教職員研修会を行いました。

「教職員と学生相談室の連携」学生相談室の現場から」というテーマで行い、合計五十人の本学教職員が参加しました。

本学の学生支援体制として、毎日の学校生活の中で学生に直接関わる教職員だけでなく、学生の健康を管理する保健室や、就職活動についてのバックアップを行うキャリアセンター、悩み事などの個別相談にあたる学生相談室等が連携して、学生支援に当たっています。

今回の研修会では、そのよ

いだろうか。

また、市民活動に詳しい外部講師の先生方やボランティア団体の方に来ていただいたり、活動内容の紹介や活動場所、やりがい、大変だったことなどについて、お話しを聞かせていただくこともあった。実際にボランティア活動をしていただく方々の話を聞くことで、私たちの知らないところで、いろいろなボランティアが行われていることがわかった。また、興味があれば一緒にボランティアに参加してかまわないと聞いてくださった方もたくさんいた。ボランティア活動を始めるきっかけとなった学生もいるのではないだろうか。

ボランティアについて勉強したい、ボランティアに興味がある、あるいはボランティア活動してみたいがよくわからないという人は、まずはボランティア論を受講してみようだろうか。また、ボランティアに興味のない人にとっても、ボランティアについて勉強できる貴重な機会となり、自分自身の考え方や視野が広がるのではないだろうか。

今後より良い学生支援のために、このような教職員の研修の場を企画していければと思います。



本学主催による 千葉県大学教務事務担当者 連絡会合宿研修が行われました



浅野 雅明 学務課主任



鈴木 水季 カウンセラー

平成二十六年八月二十九日（金）、三十日（土）と泊二日（金）にわたり、千葉県いすみ市の「九十九里ヴィラそとぼう」にて本学主催による「千葉県大学教務事務担当者連絡会」の合宿研修が開催され、八大学十七人の参加者がありました。

千葉県では、県内の大学が連携し、教務担当職員の自己啓発・研鑽の場を設けています。平成二十六年度は、千葉県大学が「千葉県大学教務事務担当者連絡会」の代表幹事校となっており、本学が千葉県の大学の頂点に立って、教務事務担当者の質的向上に

向けて最善を尽くしていく義務・責務が求められています。そのため、従来、各大学が抱えている教務事務の問題点について、班別討議のみで終わってしまっていた合宿研修のスタイルを一変させ、講演や教務関連における最新のトピック紹介、またKJ法を用いたグループ討議など様々な手法を用い、本学教職員が講師・進行役を務めました。



千葉県大学教務事務担当者連絡会

新任教員 所感



経営学科 藤波 美帆
九月より現職に従事しております。これまで、人と組織

のマネジメントはどうあるべきか、ということを中心に研究や授業を行ってまいりました。最近では、多様な人材を活用するための人事管理の仕組みや、教育訓練基盤の整備に係る政策研究を行ってまいりました。私がこうしたテーマに関心を持ったのは、大学生活も半ばを過ぎた頃でした。

学生の皆さんも、現在、色々なことに興味関心を持って取り組んでいることだと思います。そうした中で、経営学についても、より一層関心をもちたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

援事業」といった教育現場における最新なトピックの紹介、及び学生支援相談業務を担当するにあたり専門性を証明する「スチューデントコンサルタント」認定試験について紹介されました。

歴史班

経済学科3年 菅谷 祐輔
私は今回九月二日・三日両日に学芸員調査実習に参加しました。調査実習では古文書の整理をする歴史班と、墓石の拓本を取る考古班に分かれて行いました。

私は今回歴史班に所属し、勝浦市沢倉の秋葉家文書の表題取りと袋詰め、及び目録作成を行いました。今回整理した秋葉家文書は昨年引き続き行ったものです。秋葉家は撰津国の出身で江戸中期に勝浦へ移住したとの伝承があり古文書の内容としても、武士が商人に宛てた金銭借付文書

学芸員課程調査・館園実習



考古班

経済学科3年 野澤 秀徳

今年の学芸員調査実習は、九月二、三日の二日間、歴史班と考古班の二グループに分かれて調査を行いました。歴史班は、勝浦市役所にて秋葉家の古文書の目録作成作業を行い、考古班は、いすみ市の坂水寺にて石造物の拓本作成作業を行いました。

私は今回、初日に歴史班、二日目に考古班の所属になり



館園実習

経済学科3年 金井 知美

私は八月二十八日、二十九日に行われた博物館園実習に参加しました。博物館園実習は、学芸員の資格を取得するために博物館での学芸員としての実務を実践に経験すること、学芸員は、それぞれ博物館がテーマとする調査研究を重ねつつ、資料を収集し、整理・保存し、展示すると共に、広範な普及活動を行い、これら専門的事項を主体的に推進して行くべき使命を担っている大切な仕事をしていきます。今回の実習では、そうした学芸員という仕事の難しさを学ぶことができました。



今回の調査実習を通じて古文書の取り扱い方や、その内容を理解し、経済活動の様子などを知るいい機会になったと思います。

石で、寛政十二年(一七三四年)の志玄信士霊という人のもので、大きさは、横幅二三五mm、縦幅四七〇mm、厚さ一三五mmの墓石と享保十九年(一七三四年)の妙教信女という人と、と延京元年(二七四四年)の昌全信士という人のもので大きさは、横幅二〇〇mm、縦幅四三三mm、厚さ一四〇mmの墓石の拓本作業を行いました。



考古班では、石造物に刻まれた文字や模様を紙に写した。拓本の作業は、まず、タワシを使ってよく洗います。墓石が濡れたら紙を引き、霧吹きで水を満面なく吹きかけ、雑巾で空気を抜きつつ、水を拭き取ります。文字の部分は綿を使って更に拭き取ります。黒墨をタンポという道具に付けて紙に塗り、紙を剥がして、新聞紙に湿かす作業です。私が、拓本した石造物は墓

資格取得者表彰を行いました!



一日目は、博物館で受託している古文書の整理をしました。古文書は、虫食いで読めないものや、ページが張り付いていて開かないものがあり、表紙になにも書いておらず題名がわかるまでに苦労することもありました。このことから、資料を整理して、どういう属性があるものなのかを一目でわかるようにしておきたい、学芸員の大切な仕事だということ学びました。二日目は引き続き古文書の整理をし、午後からは千葉県立中央博物館で見学実習をしました。見学実習では主任講師の島立先生に案内してもらい、千葉県立中央博物館の収蔵庫を見学させていただきました。収蔵庫は資料により温度や湿度、保存方法が違いため部屋が分けられており、資料に対する気配りが大切だと思いました。

インターンシップ参加報告

経済学部 経済学科 S・I

「洗車」や「査定のお手伝い」、「ETCの取り付け」、「故障車の運搬」など、思いも寄らぬ作業が体験できました。指導社員からは、「営業職



はクルマを売り込む前に、お客様に信頼を得るために自身をPRするのがモットーとしているなど、貴重なメッセージをお聞きする機会を得ました。また、今後の就職活動に向けての心掛けとして、「笑顔営業職の姿勢と同様に「笑顔」を忘れず前向きに取り組み」ことができました。

ガチンコに就活参加して

経営学科 3年 白鳥 遥

とや「コミュニケーション力を上達させる」ことを主としたメニューに取り組みました。相手に自分の情報を伝えることゲームや雑談を途絶えることなく行い、遊び感覚で参加できるものも多くありました。そのため、最初は「就活合宿なのにこれっていいの?」と疑問を抱いていました。しかし、その後グループ・ディスカッションの練習に切り替わると、自然に誰とでもコミュニケーションをとれるようになっていた自分に驚いたのです。

私は九月十六、十七日に「ガチンコ就活塾」に参加してきました。三年生になり、就職活動を開始させるきっかけになればと思い、今回初めて参加を決意しました。南房総で一泊二日の日程で行いました。行きの電車の中で燦々とした太陽に照らされた青く広がる海を眺める事ができて、より一層やる気が高まったのを覚えています。



父母の会会報

平成二十六年年度会長就任のご挨拶

父母の会会長 松本昭男



菊花の候、皆様におかれましては、益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。

日頃より父母の会活動にご理解とご協力を賜り、役員、事務局一同、厚く御礼申し上げます。

この度、五月の父母の会総

会において、平成二十六年年度会長にご推挙頂き、新たに会長に就任することとなりました。前会長芥川浩様には父母の会の運営、発展の為に尽力されました事を心より御礼申し上げます。

本年も諸先輩方が築かれた成果を学び、父母の会活動に精一杯努めますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

就職は一生の問題だと考えると、つい「頼れる会社に就職したい」と考えてしまいがちですが、人生を会社に託すという具合には考えないほうがいいと思う。仕事の力が身に付

いて、自分の「人材価値」が高まる会社が「いい会社」なのだと思えます。将来が不透明なビジネスの世界にあって、頼むべきものは自分の「人材価値」です。人材価値は自分に身近であり、会社の将来性よりも確かに分かれますし、何よりも自分の努力で改善できると思います。

父母の会では、ゼミ担当教員と保護者、学生の個別面談、就職情報報告会、就職相談会を、大学との共催で年間活動に組み入れ、保護者と教職員が直接懇談して年々変化する教育環境、就職情報を会員の皆様に的確に把握して頂くと共に、日頃の悩みや疑問を個別に聞いて頂く機会を設けております。

本年度も春と秋に個別面談会を開催しましたところ、多数のご参加を頂きました。特に九月二十日に開催いたしました個別面談会におきまして、就職関連行事として会社側からの講演、並びに就職内定者による就職活動体験等非常



三年生対象「親子就活スタートアップセミナー」

就職部長 鎌山 徹

去る九月二十日(土)、三年生対象の「親子就活スタートアップセミナー」を開催いたしました。三年生に早め就職を意識してもらうと共に、来年度、内定を手に入れたら始めました。



就職部長による「本学のキャリア教育」についての概説の後、お招きしたアラマークユニフォームサービスジャパン株式会社の渡辺洋岳様、トヨタローラ千葉株式会社辰川誠様に「企業が求める人材像」について講演いただきました。

その後休憩を挟んで、早くも内定を得ている四年生の青木秀太君、宮内亜希帆さんから「就職活動体験談」を語っていただきました。

出席した学生は、三年生一四八名、二年生一名、一年生一名、計一五〇名で、そのほか五十一名の保護者の方にご参加いただきました。九時半から十二時半まで三時間にわたるセミナーでしたが、皆さん熱心に聞き入っておられました。

最後の「質疑応答」セッションでは、下級生から四年生にさまざまな質問がなされ、四年生は真摯に答えておられました。下級生だけでなく、保護者の方たちにも、学生たちの就活について多少なりともご理解いただけたのではないかと思います。

本学では、残念ながら、毎年、就職活動をしなければいけないことがわかっていながら就活に向かなくて動き出せない四年生が少なからずおります。そのような学生の人数を少しでも減少させることが本学の課題の一つです。今回のセミナーがその一助になればと考え実施に至ったわけですが、大変好評のうちに終了することができましたので、来年度以降も続けて参りたいと考えております。



同窓会会報

平成二十六年年度 同窓会定期総会・懇親パーティー報告



平成二十六年七月二十六日(土) 毎年恒例となっております同窓会定期総会・懇親パーティーが、三井ガーテンホテル千葉にて開催されました。

定期総会・懇親パーティーでは本学関係者を含め六〇人の方々にご出席がいただきました。今年度は「友人同士誘い合わせる出席」「ご夫婦そろっての出席」「お子様連れでの出席」と多岐にわたっており、さまざまな年代の方々と楽しいひと時を過ごすことができました。

定期総会では、鹿島同窓会長の挨拶から始まり、大学で取り組んでいる様々なプログラム、わが大学の就職活動の現状分析、課外活動団体への予算振り分けなどの報告がなされ、現在本学が置かれている現状が事務局より報告されました。また、以下の四つの議案について報告がされ、了承されました。

懇親パーティーでは、同窓会から課外活動団体への援助金が支給された団体よりクラブ活動における活動報告がなされ、同窓会に対してのお礼の言葉とこれからの活動目標が述べられました。

各テーブルにおいては、さまざまな年代の方々が揃い、恩師の方々への現状報告や旧友との情報交換、先輩方や後輩達との学生時代の思い出話に花が咲き、会場全体が盛り上がりました。

また、今年度も懇親パーティーでは、プロのマジシャンによる出席者参加型のマジックショーが行われ、お子様だけでなく参加者全員が楽しむことができました。

同窓会事務局では、今後同窓生の皆様に楽しんでいただけるような懇親パーティーを企画していきたいと考えております。来年も多くの同窓生の皆様とお会いできることを楽しみにしております。

- 第一号議案 平成二十五年年度決算の承認について
 - 第二号議案 平成二十六年年度予算について
 - 第三号議案 同窓会各種補助金について
 - 第四号議案 役員選任について
- 定期総会終了後は、会員全員が楽しみにしている懇親パーティーへと移っていきま



第27回 千葉経済大学大学祭開催

平成26年11月8日(土)・9日(日)、大学祭が行われました。当日は、模擬店、ステージでの芸人によるお笑いライブ、演奏発表、文化系課外活動団体による室内展示発表、ゼミによる課題発表などが行われ、賑やかな2日間となりました。



皆さん、こんにちは。陸上競技部部長の佐藤です。陸上競技部は毎週水曜日と金曜日の十六時三〇分から活動しています。九月からは工事の関係でグラウンドが使えなくなったため活動場所が変わりました。現在は千葉公園を中心に活動を行っています。一人一人が大会に向けて、活動しています。部員同士も仲が良かったため活動できています。練習内容を少しだけ紹介いたします。練習は基本的には種目毎に分かれた種目練習を行っています。種目に分かれて行うことで自分に合った練習をすることが出来ます。現在は

陸上競技部

部活動活動報告

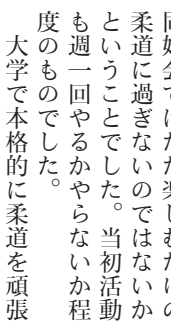
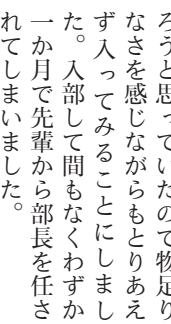


柔道部は土曜日を中心に体育館で活動しています。活動内容としては技の練習(寝技、立ち技、乱取等)とウエイトトレーニングを行っています。私達柔道部は先輩・後輩の仲が良く、新入生歓迎会や親睦会を行っています。また、練習では自分の欠けているところを互に見つめ合い、部を盛り立てる何が大事かを考

柔道部

「それはないだろう!」と思いつつも、私もわからないままがむしゃらに頑張ってきました。部長になり、最初に取り組んだのは場所と部員の確保でした。その当時は七人所属はいたものの、活動に参加していたのは実質三人でした。そこで部員募集を積極的に行ひかけました。その結果今では十五人になり、活動を行

人数の関係上、短距離と長距離にしか分けられていませんが今後人数が増えた際にはさらに細分化していきます。短距離の練習内容はスタンプを使用したスタート練習、インターバル走などです。主に瞬発力を高める練習を中心に行っています。陸上競技部に入ることで運動不足の改善はもちろんのこと、基礎運動力を身につけることもできます。他には対人スキルとしては、コミュニケーション能力もつくと思います。話しやすい部員や個性的な部員がいてコミュニケーション能

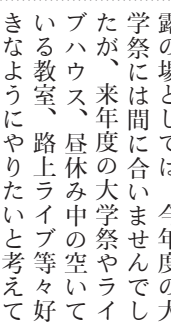
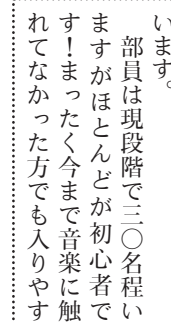


えて試合に臨んでいます。私が大学に入学した時、柔道部はまだ同好会でした。オリエンテーションでは、先輩が一人で活動紹介をされていた。それで感じた事は、同好会ではただ楽しむだけの柔道に過ぎないのではないかと。当初活動も週一回やるかやらないか程度のものでした。大学で本格的に柔道を頑張ろうと思ったので物足りなさを感じながらもとりあえず入ってみることにしました。入部して間もなくわずか一か月で先輩から部長を任せられてしまいました。

ROCK AND コーラス同好会



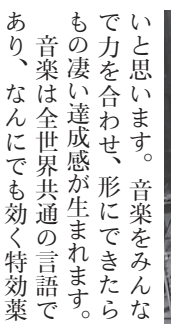
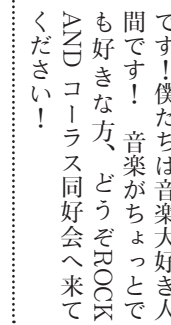
また体育館ステージで行っていた練習もコート半面でするようになりました。柔道畳の滑り止めも買い置も滑らないようになり、大学祭にも参加し、活動らしい活動ができるようになりました。そして外部から、柔道界ではかなりの実力のある指導者である加藤博明さんを監督に力をはむろ自然と身につきます。ですので、大会による記録を目指していない人も気軽に



こんにちは! ROCK AND コーラス同好会部長、中村です。今年の夏ごろに設立したばかりの同好会です。活動内容は、歌ったり、楽器を弾いたり、自由に活動してゆるゆると思っています。今のところは、部室はなくほぼ個人練習になってしまいましたが、月に何度かスタジオや、カラオケなどに集まって練習したいと考えています。披露の場としては、今年度の大学祭には間に合いませんでしたが、来年度の大学祭やライプハウス、昼休み中の空いている教室、路上ライブ等々好きなようにやりたいと考えています。部員は現段階で三〇名程いますがほとんどが初心者です! まったく今まで音楽に触れてなかった方でも入りやす

お迎えしました。指導を受けられるようになってから上達し、この間行われた大会で二段の部三位入賞、初段の部優勝を出来るまでになりました。この功績が認められ、このたび同好会から部に昇格しました。今後も加藤監督のもとすべてのことに感謝し、千葉経済大学柔道部として盛り立てていきたいと思っています。入部してください。行事としては夏休みにある合宿のほか、大学祭に出店したり、忘年会を行ったりしています。基本的にはどの行事も楽しんで参加しています。行事を通して部員同士さらに仲良くなる事ができます。これ以外にも行事に思いつきで参加したりすることもあるのでそういった行事、イベントごとが好きな人もぜひ入部してほしいです。十一月、十二月の大会では全員が自分の目標を達成し終えられるように全力で頑張りたいと思います。トラック競技はオフシーズンになってしまっていますが、まだ大会はありますので最後まで頑張りたいです。皆さん、陸上競技部をよろしくお願ひします。

いと思います。音楽をみんなで力を合わせ、形にできたらもの凄く達成感が生まれます。音楽は全世界共通の言語であり、なんにでも効く特効薬です! 僕たちは音楽大好き人間です! 音楽がちょっとでも好きな方、どうぞROCK AND コーラス同好会へ来てください!



図書館からのお知らせ

総合図書館では毎年入学してくる大学・短大の新入生に対し、四月・五月の基礎ゼミ等の授業の中で図書館の利用の仕方について説明を行っています。

OPAC(オンライン蔵書目録)を使って本の検索方法や館内の配架区分場所と本の配架の仕方について説明し、また課題を出して実際に本を棚から探してもらいます。総合図書館の本の配架は公共図書館や他大学図書館と同じ配架順を採用していますので、他の図書館で本を探すのにも役立ちます。

さらに、HPに掲載しているデータベースやオンラインジャーナルの使い方も説明します。

四つの国内データベースは、日経新聞記事・雑誌記事・企業



平成26年度 春の学生ブックツアー



平成26年度 図書館講演会

業情報等を検索できます。就業活動に役立つ情報から就職活動に役立つ情報まで探すことができ大変便利です。

また、図書館では春と秋に実施している学生ブックツアー(大学生と短大生が計八名の選書委員が参加)と毎年七月に建学の精神「片手に論

語、片手に算盤」にちなんで外部から講師を招き論語を演題とする講演会を開催し、地域の皆様にも参加頂いています。さらに、平成二十六年から新しい取組みとして大学祭に「本のリサイクルコーナー」を出店します。

除籍図書・雑誌、学生・大学教職員や地域住民からの供出本を無償配布(一部有料)します。

ここ数年でブームになっている「ビブリオバトル」の開催も検討中です。最後に、地域貢献活動として、三年前から市内中学二年生を図書館体験学習で受け入れていますが、これに加えて今年からは市内小学二年生の図書館見学を二回受け入れました。小さい頃から図書館を見学、体験学習す

ることで本に親しみ、学ぶ楽しさを味わってくださることを期待しています。

近年、学生の本離れが進んでいます。学生時代に沢山の本を読んでおくと、社会に

出てからとても有利となります。是非、図書館を活用して下さい。



訃報

高橋 孝次 教授 平成26年5月13日ご逝去
お悔やみ申し上げます。

人事異動

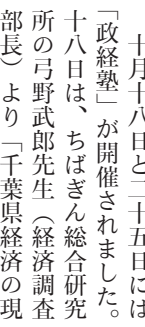
- 【教員】
 - 採用(平成26年9月1日付)
 - 藤波 美帆 専任講師
- 【職員】
 - (1)退職(平成26年6月30日付)
 - 市来 伸也 大学・短期大学部事務局情報企画戦略室次長 兼 庶務課長
 - (2)採用(平成26年7月1日付)
 - 鈴木 玲穂 大学・短期大学部事務局入試広報センター
 - 佐藤 裕乃 大学・短期大学部事務局キャリアセンター
 - 荻野 正昭 大学・短期大学部事務局大学学務課長 兼 情報企画戦略室参事
 - (3)配置換(平成26年7月1日付)
 - 山口 博 大学・短期大学部事務局情報企画戦略室次長 兼 庶務課長
 - 古川将偉治 大学・短期大学部事務局大学学務課(教務担当) 兼務
 - 魚野 力 大学・短期大学部事務局情報企画戦略室兼務
 - 藤田 幸枝 大学・短期大学部事務局情報企画戦略室兼務

リニューアルしたオープンアカデミー

本学の公開講座を「オープンアカデミー」といいます。地域に根ざし地域から愛される大学として、多くの市民の皆さまに大学の門をくぐっていただき、本学教員や学外の研究者による研究成果をわかりやすくお伝えすることを目的としています。

講演の様子をご紹介します。十月十一日には「特別講演会」が開催され、講師には地域産業論の第一人者としてテレビ出演も多く大変著名な関満博先生(二橋大学名誉教授)をお呼びしました。講演テーマは「東日本大震災後の日本産業」でした。

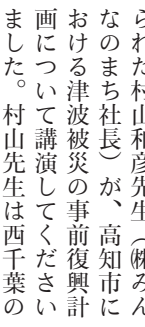
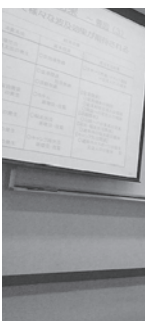
十月十八日と二十五日には「政経塾」が開催されました。十八日は、ちばぎん総合研究所の弓野武郎先生(経済調査部長)より「千葉県経済の現



状と動向」を講演していただきました。当日はコメントターとして本学名誉教授の藤原俊朗先生にも加わっていただき、千葉県と神奈川県が協力することの大切さをお話くださいました。

二十五日は、まちづくりや都市計画に長年取り組んでこられた村山和彦先生(柳みんなのまち社長)が、高知市における津波被災の事前復興計画について講演してくださいました。村山先生は西千葉の

秋に入ると開講回数が増え、十月と十一月の毎週土曜日(十時三十分から十二時まで)の計九回開講されました。その中から、以下では三つの



平成25年度 千葉経済学園財務情報

平成25年度における財務状況を次のとおりご報告いたします。

1 資金収支計算書 (平成25年4月1日～平成26年3月31日) (単位:千円)

収入の部		支出の部	
科目	決算	科目	決算
学生生徒等納付金収入	2,518,831	人件費支出	2,690,498
手数料収入	55,673	教育研究経費支出	666,121
寄付金収入	17,657	管理経費支出	143,220
補助金収入	775,272	借入金等利息支出	28,929
資産運用収入	51,585	借入金等返済支出	112,290
資産売却収入	200,000	施設関係支出	365,526
事業収入	79,888	設備関係支出	59,499
雑収入	339,385	その他の支出	122,573
借入金等収入	240,000	資金支出調整勘定	△ 152,572
前受金収入	641,660		
その他の収入	292,903		
資金収入調整勘定	△ 982,450		
前年度繰越支払資金	1,470,607	次年度繰越支払資金	1,664,926
収入の部合計	5,701,011	支出の部合計	5,701,011

2 消費収支計算書 (平成25年4月1日～平成26年3月31日) (単位:千円)

消費収入の部		消費支出の部	
科目	決算	科目	決算
学生生徒等納付金	2,518,831	人件費	2,704,875
手数料	55,673	教育研究経費	1,010,134
寄付金	18,321	管理経費	156,614
補助金	775,272	借入金等利息	28,929
資産運用収入	47,314	資産処分差額	64,685
事業収入	79,888	徴収不能引当金繰入額	275
雑収入	370,019	徴収不能額	500
		消費支出の部合計	3,966,012
帰属収入合計	3,865,318	当年度消費支出超過額	284,785
基本金組入額合計	△ 184,091	前年度繰越消費支出超過額	2,983,399
消費収入の部合計	3,681,227	翌年度繰越消費支出超過額	3,268,184

3 貸借対照表 (平成26年3月31日現在) (単位:千円)

資産の部		負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部	
科目	決算	科目	決算
固定資産	15,572,080	負債の部	3,025,711
有形固定資産	13,918,892	固定負債	1,942,494
その他の固定資産	1,653,189	流動負債	1,083,217
流動資産	2,023,071	基本金の部	17,837,625
		消費収支差額の部	△ 3,268,184
合計	17,595,152	合計	17,595,152

☆平成25年度財務情報の詳細は本学園ホームページに掲載していますのでご参照ください。